

- 2~3. 第14回 ES 総会あいさつ・イベント報告
- 4~5. オレンジいぼん
~活動に参加して~
6. CAP
「CAPおとなワークショップ」
7. うきうきルームスタッフより&テリー・ケリーさん講演
- 8~9. さとにきたらええやん
~映画、観てきました!~
10. 堺市男女共同参画事業 報告
「幼児期からのジェンダーフリー」遠矢家永子さん
- 11~12. 子どもの権利条約フォーラム2016in 関西
「子どもの参加・参画が当たり前と認識される社会に」
12. 研修のご案内
13. CAP プロジェクト報告&
14. 事務局からのお知らせ





第14回 ES総会 あいさつ

こんにちは。

第14回、特定非営利活動法人えんぱわめんと堺／ESの総会を開催することができ、嬉しく思います。

毎年のことですが、総会のあいさつの言葉を考えこの場に立つことは、私自身気持ちが引き締まる思いがします。また今日に至るまで支援くださっている多くの関係者の皆さま、そして子どもたちとのつながりをなくして感謝の気持ちは語れない思いでいます。

すべての子どもたちが、気持ちや状態が安心し、どの子も失敗を恐れず自信を持って進むことができ、そして主体的に自分で選べることができる自由な気持ちで生きていけることが、世界平和に、地域社会の安定に、個人の幸せにつながる、との思いで活動を続けています。

・・・中略

自然災害での苦しみ悲しみも、人の関わりで生きる力を再生するように、人が創る環境で何かが変わるのではないかという思いで、人権が尊重される環境づくりに務めています。特にこれまで関わってきた多くの子どもたちが一歩踏み出す環境に着目し、今年3月から、新しい取り組みとして子育て支援のひろばを始めています。

今日総会後には、その始まったばかりのひろばの様子などを知っていただき、ともに良い環境作りへと広げたいと考え、イベントを用意しています。

この総会の開催に至る感謝をもって、皆さまへのあいさつの言葉に代えさせていただきます。

北野 真由美





総会イベント

総会後のイベントは、地域の広場「陽だまり」さんによる、『子育てひろばでする手遊び「あ・そ・び」から学ぶ』を披露して頂きました。今年度から中区で子育てひろば「うきうきルーム」を運営することになった私たちに、陽だまりの皆さんが子どもと楽しめる遊びを伝授&激励してくれました。

参加者が幼児になりきって、エプロンシアターや、指人形を使って楽しむ！・お腹の底から笑いこぼる！のひととき。

陽だまりさんが活動を始められた当初の思いや、ESのメンバーとの出会いのことなど、ちょっぴり感動の涙のシーンもありました。

うきうきルームで活用出来るようにと、陽だまりさんで使っている、手作りの布おもちゃなどのたくさんのプレゼントも頂きました！ただいま、うきうきルームでも、こころクラブでも活躍中です!!





オレンジいぼん

はじめまして。こんにちは。

今年度からえんぱわめんと堺のメンバーとして活動に参加させて頂いています。

あいのっちと申します。

今回は、オレンジいぼんの活動のひとつである、こころクラブの様子をご紹介させて頂きたいと思います。



まず、最近の活動について。

先月のこころクラブでは、参加して下さいた人たちとえんぱわめんと堺のメンバーに加えて、大学生のボランティアさんも一緒に活動をしました。

まずは、おなじみの自己紹介の歌。

「たいせつなあなたの名前はなあに？」から始まり、それぞれが好きな食べ物や好きなことを発表。「このアイドルが好き!」「ししとう、ピーマンが好き」と個性全開です。

次に、アイスブレイクでは、みんなの歌と手拍子に合わせて、大学生によるウクレレとギターの生演奏。ドラえものの主題歌やジブリのポニョなどを演奏し始めると、それぞれが口ずさんだり、首を揺らしたりと自由に表現し参加してくれました。私は、ウクレレで「オーシャンゼリゼ」という曲を演奏。

歌の時間を終えた直後、「ちょっと来て」と手招き。「来月はこの曲弾いてね♪」と演奏メンバーへの直接リクエストもあり、音楽を通してさらに交流が深まりました。

こころクラブの活動は、現在も月に1回、第3日曜日を開催しています。

私がここに来させて頂いて、感じていること。

こころクラブの活動は、まず、笑顔がとても多い場所です。そして、それぞれがそれぞれの居たい場所で自由に活動に関わります。





初期の頃から来ている人、時々来る人、久しぶりに来る人、私のようにはじめて来る人。こころクラブに携わる全ての人が、それぞれのペースでこころクラブを大切な1日として、活動に関わっていることを実感します。

活動の終盤になると、カレンダーを見ながら、「来月はこの日やんな！」と楽しみにする声を耳にします。私にとっても同じようにこころクラブは、いつも月に一度の楽しみの日曜日になっています。

あいのっち



ローズカーニバル

今年も、5月15日に浜寺公園で開催されたローズカーニバルに参加しました。

フリーマーケットでの売上金および寄付金を利用して、できるだけ多くの子どもたちにワークショップを届け、「みんなひとり1人とても大切なんだよ」と伝えていきます。

関心のある方は、ES事務所までご連絡ください。

品物を提供して下さった方々、そして当日寄付および購入をして下さった方々、ありがとうございました。
この場をお借りして、お礼申し上げます。





CAPおとなワークショップ
参加者募集！



子どもが暴力から自分の身を守るために

8月6日（土）に2016年度 第1回CAPおとなワークショップを
“堺市美原文化会館”で開催しました。広報活動をメンバーで行いながら、1学期に子どもワークショップを実施する学年の小学校にも協力してもらい、チラシを家庭数分配らせてもらいました。

なぜ『おとなワークショップ』が大切なのでしょう？

“子どもたち一人ひとりは大切な存在” 子ども自身もそう思えるようなおとなの関わりとは？子どもたちを取り巻く環境も複雑です。家族のありようも様々です。困った時、どうしていいかわからない時、怒りの気持ちでいっぱいになった時、そして安心・自信・自由の人権が奪われそうになった時、気持ちを聴く“おとな”の存在はかけがえのないものです。

「聴く」とは？この機会にともに考えてみませんか。

CAPおとなワークショップ開催日程

開催日： 2016年12月3日（土）
場 所： 堺市総合福祉会館
時 間： 13:30～16:30（開場13:00）

※無料・事前申し込み不要
託児のみ予約制・お問い合わせは えんばわめんと堺まで





うきうきルーム(中区子育て広場)スタッフより

＊ 『初めて来られるお母さん、お父さんは ドキドキ、子どもさんもドキドキ、迎える私もドキドキ。帰る頃にはニコッと笑顔を見せてくれるとホッと嬉しくなります。いつも頑張っているお母さん、お父さんが、「ここに来るとホッとするなあ」と思ってもらえる広場にしていきたいです。』 下村

＊ 『3月に開所し、数ヶ月が過ぎました。広場に来て下さる方々が、1回、2回きりではなく、何度も来てくださるリピーターの利用者さんが多いなあと思います。繰り返し来てもらえることが嬉しいなと感じます。』 藤井 依子

＊ 『3月からひろばに関わらせて戴き、待つ事と 言葉にしない気持ちを汲む大切さを感じています。これからもひろばに来てくださるお子さんと保護者さんに寄り添っていけるように努力していこうと思います。』 A



カナダの保育における多様性とアンチバイアスの適用

主催：和泉に公的子どもオンブズパーソン制度をつくる会～テリー・ケリーさん～

多様な形態や背景を持つ子どもとその家族に関わり、トロントにあるセネカカレッジ保育学科で教鞭を取るテリーさんのお話を聴いてきました。

「環境がもう一人の先生」（こんな訳であってるのかは自信ないけど）という言葉が印象的でした。カナダの幼児教育での多様性におけるスタッフ養成の話題を聴くうち、日本では保育士さんに多様性を受け入れる研修などはどのように行われているのか？と思いました。

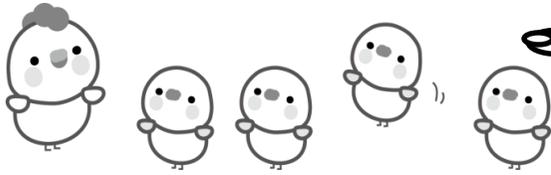
保育士が多様性を受け入れられる資質を持っていなければ、未就学の子どもたちにも伝わらない…。

私たちが担う中区のひろばは、幼稚園や保育園ではないけれど、親子が集う場であるので、多様性を理解し、伝えていく責任があるなあと感じました。

テリーさんはヨガインストラクターの資格もお持ちで、この講演の数日前に、中区の親子ヨガ講座も開催してくださいました。

「90分間子どもに寄り添い、向き合ったことが素晴らしいことですよ」の言葉と、ほぐれた身体に参加者は癒されたようです♪（しおちゃん）





映画を
観に行きました！

平成28年度文化庁映画賞 文化記録映画部門 優秀賞受賞

さとにきたら ええやん



☆「近所のおっちゃんに、なーらった・」SHINGO☆西成さんの曲とともに、チリンチリン！と自転車のベルを鳴らして西成の町を軽やかに通り抜けていく学生服の子ども。映画のスタートはそんな JOE くんの中でした。もう、ここから私は映画にひきこまれていきました。あの子もこの子も、何度か出会った子どもたち…映画のスクリーンに出てくる子どもたちを見ながら、あんなこと話したなあとしみじみ。二時間の映画の中で、一人ひとりの成長と変化を感じながら、スゴいなあ、力あるなあと感無量になりました。

「子どもの力を信じる」私たちの活動の理念です。このことが実感できる映画でした。スタッフさんの子どもたちに向き合う姿勢も半端ない！ 荘保さんの「困ったことがあったらいつでもきたらええ」あの言葉がずっと心に残っています。

”子どものさと“のように、子どももおとなも困ったときに「こまってるねん」と言える、しんどいときに「しんどい」と言える、そんな場所があたりまえにあれば…私にもできるかな？みんなで作って行きたいな～映画を見て改めて感じました。

by ありちゃん

いつでもおいでや。
子どもも大人も集まるみんなの“さと”





☆「さとにきたらええやん」とひろく受け入れてくれるところ。

だれもが認められ安心できるところ。

一緒に考え続けてくれるところ。

大丈夫！ええやん！と思えるところ。

立ち止まる、また進むこともできるところ。

ずっと在り続けてほしいところ。



スタッフの方々の努力、

子ども達の持っている力に強さとまぶしさを感じました。

本当に“さと”があって良かった！

映画を観てから、自分には何ができるのか…宿題に向きあっている途中で。

by さこちゃ

☆「こどもの里」では、これまでに何度か子どもたちと一緒に時間を過ごさせてもらった。私はその度、生きていくちからとはどういうことかを考えさせられている。『さとに来たらええやん』は、映画の中だけの特別なことではなく、これが里の子どもたちの日常であり、子どもたち一人ひとりに向き合い寄り添うおとながいるというドキュメンタリー。子どももおとなも精一杯生きていると感じる。私に何ができるだろう。私も精一杯生きよう。そしてできることをひとつずつやっっていこう。あゝまたまたパワーをもらった!!

by ほりちゃん

☆観に行った！気持ちがあふら〜とふくらみ、心にポッと灯が・・・

いろいろあるよ、あるけれど、生きることはなかなかええやん、出会いを重ねながら泣き笑いを繰り返し、怒りでどうしようもない時も誰かに気にかけてもらう。

SHINGO★西成の歌が心にしみる。♪うまくいかないときもあるけどええことあるよ、きっとあるよ♪心と懐（ふところ）が寒い時こそ胸をはれ♪

莊保さんの言葉、「困ったときはいつでも来て！」こんな風におとなから声をかけられると、それだけで自信を持って一歩を踏み出せそうな気がする。私もそんな人になりたい。

S☆NAGAOKA



幼少期からのジェンダーフリー

講師：NPO法人 SEAN 副理事長・事務局長 遠矢 家永子さん

♪「なくんじゃないよ、男だろ！」男の子だって泣いていい

「理屈を言うな、女のくせに！」女の子だって言っている♪

ラップのリズムに乗って、子どもたちが歌う。NPO法人SEANの小学生対象の*ジェンダーフリー教材の一場面です。そういえば子どもの頃よく言われたなあ、「女の子なんやから・・・」というようなセリフ。おとなになってからも、子どもについていって「はっ！」としたことも何度か・・・

ジェンダーに捕らわれると、男子は助けをを求めることは責任を放棄することと考え、助けをもらうという選択肢を選びにくく、女子は被害を認識する力が弱く、被害に遭っても自分が悪いと考えがちになる。という遠矢さんの話を聴き、ジェンダー規範が、子どもたちを取り巻くさまざまなトラブル、特に女性性を商品化するポルノ被害に影響していることを再認識しました。おとなの関わりが、子どもの価値観に大きく影響を与えます。まずは、おとなの私たちが知らないうちに身につけてしまっている（それもしっかりと）自分の中のジェンダー規範に気づき、振り返り、学習しなおすことが大切だと改めて感じた2時間でした。

(いたはし)

参加者の声

- ・なかなかおとなが変わることは難しいですが、たとえ少しずつでも男らしさ、女らしさで悩む人がいなくなれば、と思います。
- ・今日のお話を聴いて、おとなが無意識に子どもにジェンダーの概念を植え付けていることがとても怖いことだと思いました。自分も自分の中にとらわれを多く持っていると思うので、子どもに接するとき少し考える習慣を持っていけたらと思います。
- ・自分の身につけているものがありました。ジェンダーフリーを知ったことですごく楽になりました。
- ・性的商品として子どもが取り上げられている現状。そのスタートが知らず知らずのうちに小さな時からすり込まれていることが本当に怖いことだと感じました。
- ・講師の先生から、具体的な話をきいて自分が学び、そのことを周りへ伝えていくことで少しずつ社会が変わり、ジェンダーフリーが広がると思いました。



*ジェンダーとは：社会的・文化的につくられる性。(画一化、多数派の) 性別意識。[遠矢さんの当日資料より]



子どもの権利条約フォーラム 2016in 関西

開催準備中

「子どもの参加・参画が当たり前と認識される社会に」

子どもの権利条約フォーラム 2016in 関西が 12 月 10 日 11 日の 2 日間、金蘭女子短期大学を借りて開催されます。えんばわめんと堺/ES も、子どもの人権を主体に活動している団体として今回のフォーラムに全面的に関わっています。全体運営に関わりながらも、主に子ども参画の『子ども会議』を担い、今年 5 月のプレフォーラムから毎月 1 回子ども達と出会い、ワークショップを重ねながら 12 月の本番に向けて準備している段階です。

まだまだ、「子どもの権利条約」そのものが、オトナにも、当事者である子どもにも浸透していない現状があり、学校や家庭でも教えられていないと感じる中、「子どもの権利条約」を知ることからスタートしました。今回のフォーラムを本当の意味で、子ども参加・参画で運営しようとするために、なかなか会議がスムーズに進まなかったり、子ども達をレールに乗せているのではないかと自問自答をしたり、運営側である私たちが一番「子どもの権利・子どもの参画」というものを深く考えることになっています。

子ども達が作ったルール：【意見を言っても笑わないで】【早く早く急がせないで】【休憩時間を長くってほしい】←（OK 2、3 回に分けてでも必ず休憩は入れるね！）【その時におやつも希望】←（OK！戻ってきてくださいね！）などなど、受け入れ、お互いに歩み寄りながら本当の意味での子どもの主体的な参加とは？を考えさせられる日々を送っています。そもそも「こどもの権利」を主張するべきなのも、守るべきなのもオトナであって、「こどもの権利」をはく奪しているのも大抵はオトナ。というような問題や、日本では「こどもの権利」が根付いてなく、これはオトナが制度なりを変えていく問題であって。子ども自身が運動することではない。しかし子どもから聞き取りをすることは大事なので、その子どもが特定されたり矢面に立たされたりしないように気を付けながら進めています。

12 月 11 日には分科会として SAY（性・生）の会が『みんな悩んでオトナになるんだ』

思春期のからだと心のことを知る場、どんな質問にも答える場、を用意しています。

どうぞ皆さま、子どもと一緒に、もしくは子ども期を経てオトナになった人をお誘いあわせの上、今を生きる子ども達の声を聴きにきてください。そして一緒に考えましょう。

（はしもと）

→ p.12へ続く





『子どもの権利条約とは？』

世界のすべての子どもたちが持っている権利：国連で採択され、1990年国際条約として発効しました（27年目）日本は1994年に批准、発効し22年目になります。子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するために必要となる具体的な事項を規定しています
ユニセフの特設サイト <http://www.unicef.or.jp/crc/>

「子どもの権利条約フォーラム 2016in 関西」への
申し込みはこちらからお願いします。



来年のES主催の研修講座お知らせ

☆ 愛着に課題のある子どもの理解と支援

～反応性愛着形成不全について学び、対応を考える～

- ・講師：伊丹 昌一さん（梅花女子大学 心理こども学部心理学科 教授）
- ・日時：2017年 2月 4日（土）
午後2：00～4：30（質疑応答 4：00～4：30）
- ・場所： 堺市産業振興センター セミナー室 5

毎年恒例となっている伊丹昌一さんをお迎えしての講演会PART6です。
チラシを同封していますので、是非ご覧ください。

☆ ティーンズポストの八巻香織さんを講師にお招きして、 対人関係で大切な「境界線」をテーマに講演会を予定 しています。

- ・日時： 2017年3月4日（土）
- ・場所： 堺市産業振興センター



詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。
ご期待ください。





CAP 活動報告

2016年4月～2016年8月まで

	子どもワークショップ									おとなワークショップ	
	小学校			幼稚園・保育所			中学校			回数 (教職員)	人数 (教職員)
	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数	校数	クラス数	人数		
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	14	26	814	2	4	101	0	0	0	17(16)	140(60)
7月	15	42	1361	0	0	0	1	2	45	17(16)	109(89)
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(0)	4(0)
合計	29	68	2175	2	4	101	1	2	45	35(32)	253(149)



☆2016年度も助成および寄付を頂いています☆

＊大阪府人権協会

2016年度 人権NPO協働助成金事業・・・SAY(性・生)の会事業として

＊堺市市民活動支援基金

CAP(子どもへの暴力防止)おとなワークショップとして

ありがとうございます。

次号で、これらの助成金事業の報告を掲載します。



ESインフォメーション

2017年早々にES主催の2講座を予定しています。

詳しくは12ページをご覧ください。

また、ホームページ・フェイスブックにESの活動を更新していますので、こちらにも是非アクセスしてみてください。

会員募集～入会手続き～

正会員 5,000円
(初年度のみ入会金3,000円)

賛助会員 1,000円(入会金なし)

- ◎ 更新日は年2回(1月31日・8月31日)です。
- ◎ 会員有効期間は1年です。

郵便振替～通信欄に必要事項をご記入ください。

加入者名 特定非営利活動法人えんばわめんと堺
口座番号 00920-9-182116

〒599-8244 堺市中区上之801番5号
特定非営利活動法人えんばわめんと堺/ES
TEL:072-230-5588 FAX:072-230-5589
E-mail: empowerment@lily.ocn.ne.jp

正会員 29名
賛助会員 99名(106口)
2016年 8月

ESの活動はみなさまからの寄付、ご支援にささえられております。今後ともよろしくお願ひいたします。



編集後記

フツと朝晩の肌寒さ、日暮れの早さ、虫の声、そして食欲の秋、五感でも季節を感じる今日この頃ですが、皆さん秋の夜長どんな風におすごしですか？私はパズルを始めました。簡単にできそうと選んだイラストが結構難しく悪戦苦闘する中、普段はあまり会話のない家族ですが、ちょっと参加させると、パズルを合わせながら、良い距離間でいろんな話ができて、いつのまにか我が家のコミュニケーションツールとなっています。身近な関係だからこそ難しい距離の取り方、一人ひとりの境界線の大切さを常に意識する事って大切ですよ。

ぼんちゃん